

令和2年度事業報告

当協会では、今後の活動の方向性を示した「山口県国際交流協会中期活動プラン」（令和元年度から5か年間）に基づき、厳しい財政状況の中、関係機関・団体等との連携の下、様々な事業に取り組んでいるところである。

こうした中、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、一部の事業は中止や縮小となったものの、オンライン化や徹底した感染防止対策を取り入れながら、地域日本語教育の推進に新たに取り組むなど、多文化共生の地域づくりに向けた事業を精力的に展開するとともに、継続事業についても効率的な実施に取り組んだ。

令和2年度事業の実施状況は、次のとおりである。

1 協会運営事業

(1) 国際交流基金の造成

県・市町（平成11年度から休止）、民間ともに、出捐金の実績はなかった。

(2) 協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集

運営基盤の強化に向け、協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集を行った。

ア 協会事業のPR（パンフレットの配布等）

- 地域日本語教育総合調整会議 (7月9日ほか・山口市)
- オンライン外国文化講座（米国ほか） (7月11日ほか・オンライン)
- 地域日本語学習支援者情報交換会 (7月11日・オンライン)
- 多文化共生に係る行政連携会議・講演会 (7月21日・山口市)
- 山口市国際化推進ビジョン策定協議会 (7月28日ほか・山口市)
- インターンシップ受入 (8月19日ほか・山口市)
- やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議 (9月10日・山口市)
- 外国人住民等相談窓口対応研修会 (9月10日・山口市)
- 日本語ボランティア入門講座 (9月12日ほか・萩市ほか)
- コミュニティ通訳ボランティア講座 (9月26日ほか・山口市)
- 日本語クラブ周南対話交流型クラス説明会 (9月27日・周南市)
- やさしい日本語セミナー (10月3日ほか・光市ほか)
- 外国人住民のための日本語教室 (10月14日ほか・光市ほか)
- 多文化共生国際カフェ（韓国ほか） (11月7日ほか・オンライン)
- 外国にルーツを持つ子どもの日本語支援講座 (11月14日ほか・オンライン)
- 日本語ボランティアスキルアップ講座 (12月15日ほか・岩国市ほか)
- 学生企画による国際交流会 (12月26日・山口市)
- 山口大学教育学部国際理解教育概説 (1月14日・オンライン)
- 外国人児童生徒等教育オンライン研修会 (1月14日・オンライン)
- 多文化共生オンライン講座 (1月16日・オンライン)
- 災害時外国人サポーター養成講座 (1月23日ほか・オンライン)
- みんなの助成金セミナー&助成事業合同説明会 (2月13日・山口市)
- 下関市人権教育指導者研修会講演 (2月17日・下関市)
- 防府市・県立大共同研究多文化共生Webセミナー (2月20日・山口市)

イ 賛助会員

区 分		令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増減 (B - A)
会員数	個人	431名 (431口)	515名 (519口)	△84名 (△88口)
	団体	72団体 (152口)	66団体 (131口)	+6団体 (+21口)
	市町	県内全19市町	県内全19市町	±0
賛助会費収入		3,339,000円	3,305,000円	+34,000円

・賛助会員の加入促進及び会費納入時の非接触化を図る観点から、令和3年3月から、個人会員を対象に協会ホームページ上でのクレジットカード支払いも可能にした。

ウ 事業用寄付金

6件、25,470円の寄付があった。

2 情報ネットワークを構築する事業

(1) 情報収集提供事業

国際交流・国際協力・多文化共生に関する各種情報の収集や提供・普及等を行った。

(2) 広報事業

広く県民を対象に、協会の役割、協会事業への参加・協力のための情報を提供した。

ア ホームページの活用促進事業

協会主催イベント及び県内外の国際交流・国際協力・多文化共生に係るイベント情報等をホームページに掲載した。また、SNS (Facebook・Twitter) でも情報発信を行い、利用者の増加を図った。

区 分	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	増減 (B - A)
ホームページアクセス件数	2,548件/日	1,010件/日	+1,538件/日
Facebook フォロワー数	1,580人	1,302人	+278人
Twitter フォロワー数	383人	359人	+24人

イ 携帯メール配信事業

配信希望登録者 (47人) に、イベント等各種情報のメール配信 (月2回) を行った。

3 県民の主体的な国際活動を支援しコーディネートする事業

(1) グローバル山口国際活動支援事業費補助金交付事業

民間活動団体の国際交流・協力・多文化共生を推進する事業に助成することにより、県内の国際交流・協力活動・多文化共生の促進を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、応募総数4件全てが取り下げとなった。

団 体 名	事 業 名	申請額 (円)	取り下げ
山口日米協会	設立10周年記念事業	100,000	交付決定後
周南国際交流児童クラブ	岩国基地ペリー小学校親善訪問公演事業	63,000	交付決定後
Good Life Cooking	伝統芸能×健康づくりで国際交流	100,000	交付決定前
萩ユネスコ協会	Peace for Tomorrow 広げよう平和の心	65,000	交付決定前

(2) 国際活動推進事業（小規模助成金）

県民・民間国際活動団体が主体となり国際理解・国際交流・多文化共生に関する小規模な文化講座等の企画・運営を行うための支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、応募総数5件のうち、2件が取り下げとなった。（交付団体：3団体 助成額：97千円）

団体名	事業名	助成額(円)	参加者(人)
NPO法人山口県アクティブシニア協会	県内在住外国人との文化交流会	20,000	12
しものせき国際交流ねっと	異文化理解講座 I 外国暮らしから見えてきたこと II スペイン・三世代の物語	27,000	25
北京JAC山口	多文化共生とは ～アン（アン・クレシーニ）ちゃんから見る日本！！	50,000	47
山口県国際教育研究会	第28回山口県国際教育研究大会	交付決定前取り下げ	
I-Connect	ベトナムフェスタin周南	交付決定前取り下げ	

4 地域社会における多文化共生を推進する事業

(1) 外国人のための日本語講座支援事業

外国人のための日本語講座を開催する日本語教室を支援した。（1期12回・6団体）
参加者：計82名

会場（実施団体）	受講者数（春期）	受講者数（秋期）	計
下関会場（外国人に日本語を教える会）	-名	22名	22名
山口会場（日本語クラブ山口）	-名	13名	13名
萩会場（日本語クラブ萩）	-名	11名	11名
防府会場（防府日本語文化交流会）	-名	19名	19名
岩国会場（岩国日本語教室）	-名	11名	11名
周南会場（日本語クラブ周南）	-名	6名	6名

※春期講座は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全教室が開催を中止した。

(2) 外国人住民トータルサポート事業

ア 日本語ボランティア養成講座開催事業

地域日本語教育推進事業（受託事業）で実施した。

イ 通訳・翻訳サポータースキルアップ講座開催事業

協会登録の通訳・翻訳サポーターや活動に興味のある方を対象に「コミュニティ通訳ボランティア講座（医療）」を開催し、医療分野におけるコミュニティ通訳ボランティアの基礎的知識とスキルの向上を図るとともに新規登録者の発掘を行った。

開催日：(1) 8月22日（土）(2) 9月5日（土）(3) 9月26日（土）

講師：(1)～(3) JUS English 代表・講師、(一社)日本医療通訳協会認定医療通訳士、日米看護師資格所持 デイビス 千春 氏

(2)(3) JUS English 講師、ALT、米国看護師資格所持 スティーブソン・デイビス 氏

参加者：8名

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から人数を制限して開催した。

ウ 医療サポート事業

外国人住民、医療・保健機関からの依頼に対して、通訳を派遣した。

件数：5件（英語1件、中国語2件、ベトナム語1件、クメール語1件）

エ 留学生ホームビジット交流事業

県内大学や市町等が実施する同事業について、協会登録のホストファミリーに案内する事業だが、新型コロナウイルス感染症の影響により、紹介の実績はなかった。

登録数：62家庭 紹介件数：0件

オ 多文化共生サポーターの活用

① 日本語ボランティアの活用

日本語学習希望者からの個別の希望内容に応じて、ボランティアの紹介を行った。

登録数：47名 紹介件数：3件

② 語学（通訳・翻訳）サポーターの紹介

国際交流イベント、会議、レセプション、法律相談、外国人住民の生活サポート等における通訳や文書等の翻訳者の紹介を行った。

登録数：152名 紹介件数：20件(延べ31名)

カ 多文化共生啓発事業（オンライン）

多文化共生のまちづくりをテーマに、講座をZoomで開催し、技能実習生等も参加して、技能実習生からの生の声を聞くなど、生活面などの実態を知るとともに、支援のあり方について情報共有することができた。

開催日：令和3年1月16日（土）

講師：ほうふグローバルネット 代表 松浦 和子 氏

ベトナム及びインドネシアの技能実習生 2名

参加者：22名

キ 外国人住民エンパワメント事業（オンライン）

外国人住民を対象に、日本の民謡舞踊について学ぶ講座をZoomで開催した。

開催日：令和3年2月27日（土）

講師：日本舞踊銀扇会、桜樹館 支配人、櫛文化協会 副会長 花柳 寿寛福 氏

参加者：38名（11カ国）

(3) 大規模災害時における外国人支援研修事業

① 災害時外国人サポーター養成講座（オンライン）

災害時に外国人を支援するボランティアを養成する講座を、県と共催によりZoomで開催した。

災害時外国人サポーター登録者数：70名

開催日	タイトル・講師	参加者数
【第1回】 1月23日(土)	「災害時における外国人対応と地域防災のこれから ～コロナ禍における配慮事項もふまえて～」 (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏	45名
【第2回】 2月13日(土)	「災害時外国人サポーターに求められる基礎知識 ～大阪北部地震における外国人支援の事例から～」 (公財)箕面市国際交流協会 総務課長 岩城 あすか 氏	38名

- ② 外国人住民のための防災教室
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した。
- ③ 防災訓練への参加
県総合防災訓練は新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止となった。

5 国際理解・国際協力を推進する事業

(1) 外国文化講座等開催事業（オンライン）

山口県国際交流員を講師に、外国の文化について紹介し交流する講座を Zoom で開催し、外国への理解を促進するとともに、国際活動の推進を図った。

開催日	タイトル	講師	参加者数
7月11日(土)	アメリカの今	ティナ・サトウ 氏 (米国)	18名
7月18日(土)	そして父お年寄りになる	イ・スンファ 氏 (韓国)	10名
8月1日(土)	ソ連からロシアへ ～違う国で生まれ育った世代	バレンティーナ・ボトホエバ 氏 (ロシア)	12名
8月8日(土)	世代ごとに知るスペインの日常	ヘマ・ガルベス 氏 (スペイン)	15名
12月12日(土)	英会話講座	ティナ・サトウ 氏 (米国)	8名

(2) タブカフェ（多文化共生国際カフェ）事業（オンライン）

在住外国人等を講師に、外国の文化、習慣、食事等について幅広く学ぶ講座を Zoom で開催し、国際交流・国際理解・国際協力の基盤の拡大を図った。

開催日	タイトル	講師	参加者数
11月17日(土)	タブカフェ（韓国） オンライン	ペ・ユンジュ 氏 (前県国際交流員・ソウル在住)	14名
1月30日(土)	タブカフェ（スーダン） オンライン	武内 美樹 氏 (元青年海外協力隊)	23名

(3) 青少年交流事業

① 山東省青少年代表団の受入れ等

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した。

- ② 国際交流プログラム in 徳地
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した。

- (4) 国際理解教材整備貸出事業
民族衣装の貸出し等を行うことにより、県民の国際理解の促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸出は著しく低調となった。
民族衣装 4件 (36枚) 世界の楽器 0件 国旗・卓上旗 1件 (2枚)

6 受託事業(山口県から受託)

- (1) 海外技術研修員等受託事業
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止された。
- (2) 外国人多言語相談窓口設置受託事業 (やまぐち外国人総合相談センター)
多言語により外国人住民等からの相談を受け付け、情報提供や関係機関への取次ぎ等を行うことを目的とした「やまぐち外国人総合相談センター」の運営を行った。

① 運営

- ・相談体制：多文化共生コーディネーター 2名
多言語相談員 (英語、中国語、ベトナム語、タガログ語)
※多言語コールセンターを介した相談対応を開始した。(19言語)
※Skype 通話機能を導入し、SIM フリースマートフォンに対応した。
- ・相談方法：電話、来所相談、その他 (メール等)
- ・相談件数：928件 (日本人：548件、外国人：380件)
※昨年度に比べ、生活全般の相談が大幅に増加したほか、出産、子どもの教育に関する相談も増加した。
[国・地域数] 24カ国・地域 [言語数] 12言語
[相談内容] 25項目 [専門相談] 弁護士相談4件

※新型コロナウイルス感染症に関する対応状況 (相談件数：97件)

- ・来所相談中止期間 4月22日～5月13日 (県からの指導)
- ・多言語相談員の在宅勤務期間 4月22日～5月1日
- ・国、県、関係機関等から発出される情報の多言語化及びホームページ・SNSでの情報発信

② 会議・研修会開催

- ・令和2年度やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議 (32機関により構成)
外国人住民等からの相談に対して適切な情報提供や専門機関への迅速な取次が行えるよう、県内関係機関相互の支援ネットワークの構築・強化を図ることを目的として開催した。
開催日：9月10日 (木)
会場：小郡地域交流センター
参加者：29機関35名

・外国人住民等相談窓口対応研修会

外国人住民等からの相談を適切な支援につなげることを目的として、外国人住民対応の基礎について各団体窓口担当者向けに研修を行った。

開催日：9月10日（木）

会 場：小郡地域交流センター

参加者：31名

・やまぐち外国人総合相談センター職員向け勉強会

相談窓口対応を行う者が、外国人住民からの様々な相談に適切に応じられるよう専門的な勉強会を実施することで、職員のスキルアップを図った。

開催日：12月11日（金）

会 場：協会交流ラウンジ

講 師：出入国在留管理庁 広島出入国在留管理局下関出張所 統括審査官 吉田 晴夫 氏

参加者：10名

③ 広報・周知普及活動

外国人住民の来訪が見込まれる行政機関等へ重点的な広報活動を行った。

- ・三者通話による相談の様子の動画作成及びYouTubeを活用した限定配信
- ・各市町担当課職員向けの紹介カードの配布
- ・相談事例等を掲載したニュースレターの定期的な配信（月1回程度）

④ その他

コーディネーター及び多言語相談員のスキルアップのため、他団体主催のオンライン講座等に参加した。

(3) 地域日本語教育推進事業

県内の外国人住民が生活に必要な基礎的な日本語を学習できる環境の整備を図るため、地域日本語教育コーディネーターを1名配置し、市町や関係機関と連携しながら、モデル事業の実施や日本語学習支援者の養成、「やさしい日本語」の普及啓発、教室間交流等を行った。

① 総合調整会議

事業を効果的かつ円滑に進めていくため、県内の有識者・外国人住民等から意見を聴取し、情報を共有する会議を開催した。

令和2年度 委員名簿（敬称略）

委員長	坂本 哲宏	公益財団法人 山口県国際交流協会 専務理事
委員	家根橋 伸子	東亜大学 人間科学部 教授
	山本 冴里	山口大学 国際総合科学部 准教授
	吹屋 葉子	日本語クラブ山口（地域日本語教室） 代表
	財満 俊夫	ながと日本語クラブ（地域日本語教室） 代表

ウィルソン エイミー	山口県立大学 国際文化学部 教授
チニンタ アプリナ	徳機株式会社
石井 由利子	しものせき国際交流ねっと (国際活動団体) 代表
小倉 也寸志	山口県中小企業団体中央会 連携支援第二課 課長
柴崎 泰	山口県 観光スポーツ文化部 国際課 課長
山崎 里恵	山口市 交流創造部 国際交流課 課長

開催日・会場：【第1回】 7月9日 (木) 山口県庁
【第2回】 11月17日 (火) 山口県健康づくりセンター
【第3回】 令和3年2月12日 (金) 山口県教育会館

② 日本語学習に関するWEBアンケート

県内在住の外国人を対象に、日本語学習に関するWEBアンケートを初めて実施した。
調査地域：山口県全域
調査方法：WEBアンケート (11言語による無記名選択式・回答は1人1回)
調査項目：回答者の属性、日本語学習に関する経験・状況・ニーズ、日本語能力等
回答数：792

③ 多文化共生に係る行政連携会議・講演会

市町の多文化共生担当課の職員等を対象に、地域日本語教育の推進等に関する会議・講演会を開催した。
開催日：7月21日 (火) 山口県庁
講師：(公財)しまね国際センター 多文化共生推進課長 仙田 武司 氏
参加者：県内12市 18名

④ 外国人住民のための日本語教室 (モデル日本語教室)

地域日本語教育の空白地域の解消に向けて、「外国人住民のための日本語教室」を日本人見学者の学習支援体験も試みながら、県内2市でモデル的に開催した。

○ 光市

開催日：10月14日、10月28日、11月11日、11月25日、12月9日 水曜日・全5回
会場：光市地域づくり支援センター
講師：光市在住日本語講師
奥田 孝子 氏、毛利 隆 氏、常光 百合子 氏
参加者：外国人住民11名 (メキシコ・ブラジル・フィリピン)
日本人見学者14名

○ 美祢市

開催日：10月24日、11月14日、11月28日、12月12日、12月26日 土曜日・全5回
会場：サンワーク美祢、美祢市勤労青少年ホーム
講師：日本語クラブ山口 日本語講師
吹屋 葉子 氏、石井 和江 氏、中村 弘暁 氏

参加者：外国人住民4名（ベトナム）
日本人見学者7名

⑤ 日本語ボランティア入門講座

地域日本語教育を支える学習支援者人材の拡充のため、ボランティアの入門講座を開催した。

○ 萩市

開催日：9月12日（土） 9月26日（土）

会場：萩・明倫学舎

講師：梅光学院大学非常勤講師 當房 詠子 氏

参加者：20名

○ 下関市

開催日：10月17日（土） 10月31日（土）

会場：下関市立勝山公民館

講師：梅光学院大学非常勤講師 當房 詠子 氏

参加者：32名

⑥ 日本語ボランティアスキルアップ講座

地域で活動している日本語ボランティアを対象に、日本語学習支援のスキルアップに関する講座を開催した。

○ 岩国市

様々な教材や映像から、日本語の指導方法や学習支援について考えた。

開催日：12月15日（火）

会場：岩国市民文化会館

講師：徳山大学経済学部 准教授 山本 晋也 氏

参加者：17名

○ スキルアップ講座（オンライン）

学習者と支援者がともに創る「学び」と「支援の方法」について考えた。

開催日：令和3年1月29日（金）

講師：東亜大学人間科学部 准教授 金丸 巧 氏

参加者：30名

※1月8日（金）に山陽小野田市で開催予定だったが、大雪のため中止。オンラインに変更して実施した。

○ 外国にルーツを持つ子どもの日本語支援講座（オンライン）

日本語学習支援者を対象に、県内でも増加している外国にルーツを持つ子どもの日本語支援に係る基礎知識について学ぶ講座を開催した。

開催日：(1)11月14日（土） (2)11月28日（土）

講師：(1) (特非) 青少年自立援助センター YSC グローバル・スクール
多文化コーディネーター ピッチフォード 理絵 氏

(2) こどものひろばヤッチャル 副代表 奥村 玲子 氏

参加者：(1)34名 (2)30名

⑦ 地域日本語学習支援者情報交換会（オンライン）

県内の地域日本語学習支援者を対象に、オンラインによる日本語学習支援の手法に関する講演及び意見交換等を行った。

開催日：7月11日（土）

講師：NGO ふくやま日本語教室「ともだちひろば」 代表 宮野 宏子 氏

参加者：17名

⑧ 地域日本語教室連絡会議

県内の日本語教室の連携を促進するため、教室の代表者等による意見交換等を行った。

開催日：令和3年1月19日（火） 山口県庁

参加者：8名

⑨ やさしい日本語講座

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」の普及・啓発に向けた講演・ワークショップを開催した。

○ 光市 ※モデル日本語教室の機運醸成として開催

開催日：10月3日（土）

会場：光市総合福祉センター「あいぱーく光」

講師：(公財)ひろしま国際センター 日本語常勤講師 犬飼 康弘 氏

参加者：26名

○ 山口市

開催日：10月29日（木）

会場：山口市鑄銭司地域交流センター

講師：(公財)しまね国際センター 多文化共生推進課長 仙田 武司 氏

参加者：25名

○ 柳井市

開催日：12月20日（日）

会場：柳井市文化福社会館

講師：(一社)ダイバーシティうなん toiro

代表理事 芝 由紀子 氏・副代表理事 李 在鎮 (イ・ジェジン) 氏

参加者：26名

○ やさしい日本語講座（オンライン）

開催日：(1)12月8日（火） (2)12月19日（土）

講師：(特非)多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦 氏

参加者：(1)13名 (2)19名

7 その他

(1) インターンシップの受入

a 山口県インターンシップ推進協議会からの受入

実施日：各3日間（9月10日～12日 4名、9月24日～26日 3名）

人 数：計7名

参加大学等：山口大学1名、山口県立大学3名、梅光学院大学3名

b 山口県観光スポーツ文化部からの受入

実施日：1日のみ（8月19日）

人 数：11名

参加大学等：山口大学7名、広島修道大学1名、大阪大学1名、広島大学1名、九州大学1名

(2) YIEA 学生ボランティア制度

協会及びJICAと協働した活動に参加するYIEA学生ボランティア制度を令和2年度から新たに開始した。

登録学生者数8名（山口大学1名、山口県立大学3名、梅光学院大学4名）

学生企画「国際交流会～クリスマス&年末年始を知ろう～」

開催日：令和2年12月26日（土）

会 場：交流ラウンジ

参加者：外国人住民5名（3カ国）、日本人学生2名

附属明細書について

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、附属明細書は作成していない。